

Mini-WAN

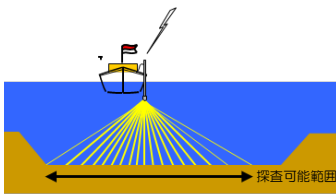
三河港湾事務所だより

2017年7月号

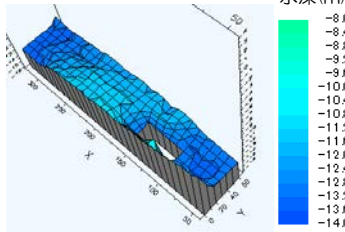
大規模災害に備えて ～ナローマルチビーム測深機使用訓練を実施～

三河港では、平成27年度に国・港湾管理者・民間企業で構成する「三河港BCP協議会」を設置し、南海トラフ等の巨大地震・津波に対する防災・減災対策に取り組んでいます。当事務所は、災害時に港湾施設の被害調査及び応急復旧を行う役目を担っており、緊急物資輸送や航路啓開に関する検討を進めています。この取り組みの一環として、5月22日(月)に航路啓開訓練を行いました。

本訓練は、巨大地震による津波や大型台風による高潮により、陸上の障害物が海に流され沈降し、船舶航行の障害となっている恐れがあると想定し、海底の障害物の有無や位置・量等を把握するため、ナローマルチビーム測深機(海底探査装置)による海底探査を行いました。この測深機を使用することで、災害時に海底に沈降したコンテナ、車両等の障害物の有無を迅速に把握することが可能となり、速やかな緊急物資の受け入れにつながります。



探査イメージ



実測データより作成した鯨瞰図

今回の訓練では、当事務所所有の港湾業務艇「しおさい」にナローマルチビーム測深機を海上で取り付け、完成自動車・コンテナを扱っている三河港神野地区7号岸壁の前面海域で測深しました。

引き続き、当事務所では災害時の迅速な復旧・復興活動が可能となるよう日々、訓練等を積み重ねて参ります。



訓練状況



海上での作業状況

【ナローマルチビーム測深機とは】

超音波のビームを海底に数多く放射することにより、効率良く精密に海底の地形を計測する音響測深機で、海底地形をリアルタイムでグラフィック表示し、海底に横たわる障害物や落下物の形状をとらえることができます。

また、GPSによる位置情報や測量中の潮位データを同時に取り込んで処理することで、正確な水深を測定することができます。取得した測深データを高性能な解析・図化ソフトで処理し、三次元的に可視化したり、海底地形図を作成したりすることも可能です。

学生のための社会見学 ～飯田OIDE長姫高等学校が工事現場を見学～

6月15日(木)に、飯田OIDE長姫高等学校の社会基盤工学科の2年生約40名が、三河港神野地区で整備を行っている耐震強化岸壁の工事現場を見学しました。

生徒たちは工事現場での作業を見学しながら、港の役割や工事概要に加え建設業者の若手技術者から就職した動機や仕事のやりがい等についての説明を熱心に聞いていました。



見学の様子

中部地方整備局では、社会資本整備の役割を知っていただくため、普段入ることのできない工事現場を一般の皆さんに「旬な現場」として積極的に公開しております。ご興味をお持ちの方は以下URLをご覧ください、お問い合わせ下さい。

現場へ行こう



http://www.cbr.mlit.go.jp/local_info/sougou/contents/shisetsu/construction/genba.htm



みなとふれあい体験イベント



船上セミナーの様子



港湾業務艇「しおさい」

5月30日（火）に、豊橋市みなと振興課が主催する「みなとふれあい体験イベント「コンテナターミナル見学と船上セミナー」」が開催されました。このイベントは港の施設の見学や船上からの三河港の見学を通じて、港の役割を学ぶこと、港への関心や親しみを持ってもらうことを目的に開催されています。

当日は26名が参加し、船上セミナーでは、当事務所所有の港湾業務艇「しおさい」に乗船して、約1時間の三河港見学を行いました。当事務所職員から、港内の施設や立地企業など、三河港についての説明を行い、それに加え当事務所で実施している事業についても紹介しました。

参加された方々は、普段目にする機会が少ない船上からの景色を興味深そうに眺めていました。また、三河湾にスナメリが生息しているという説明を受けると、スナメリを見つけようと懸命に目を凝らしたり、見つけた船や建物について質問したりしていました。

当事務所では、こういったイベントを通じて、地域の方々に海や港への興味・関心を持っていただくため、今後も協力していきます。

三河港関連事業計画等説明会が開催されました

6月16日（金）に、ライフポートとよはしにて三河港関連事業計画等説明会が開催されました。当説明会は、本年度の三河港に係る国及び県の事業把握を目的として、三河港振興会と東三河懇話会が主催するもので、両会の会員や、三河港周辺自治体の議員、関係機関の職員等、約90名の方が参加されました。

今回、当事務所長の平澤、愛知県三河港務所の山田所長、愛知県三河港工事事務所の野々山所長が講師として招かれ、今年度のインフラ等の整備計画、貨物取扱量等の三河港の現状について説明がありました。



当事務所長平澤による講演の様子
（提供：三河港振興会）

海上自衛隊の潜水艦が蒲郡に初寄港



潜水艦の艦上見学会の様子

6月10日（土）、11日（日）に、海上自衛隊の潜水艦が三河港蒲郡地区浜町ふ頭に初寄港し、一般公開が行われました。秘匿性の高い潜水艦が基地以外に寄港することは珍しく、潜水艦を一目見ようと、会場には大勢の方が訪れました。

機密上、寄港当日まで非公開放とされていた潜水艦の名前は「まきしお」でした。「まきしお」は2001年3月に就役し、海上自衛隊呉基地（広島県呉市）に配備されています。



潜水艦「まきしお」
（出典：海上自衛隊HP）

10日（土）午前9時より行われた歓迎式典では、稲葉正吉蒲郡市長より蒲郡特産の温室ミカンが艦長に贈られました。艦上見学会も行われ、各日600人の整理券は早々に配布終了してしまいましたが、自衛隊の広報ブースや飲食ブースもあり、訪れた方はなかなか目にするのでできない潜水艦を見ながら、それぞれに楽しんでいる様子でした。



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おおいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>